作成日　2014年08月05日
改訂日　2015年08月01日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	デゾレートAZ粒剤
整理番号	3030-03
供給者の会社名称	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	環境安全部
電話番号	03-3279-5151
FAX番号	03-3279-5195
緊急連絡電話番号	03-3279-5151
推奨用途及び使用上の制限	農薬（除草剤）

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体 区分外 水反応可燃性化学品 区分外 酸化性固体 区分3
健康有害性	急性毒性（経口） 区分外 急性毒性（経皮） 区分5 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分3 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2B 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分2（呼吸器系） 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分2（呼吸器系 腎臓 ）
環境有害性	上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語	危険
危険有害性情報	H272　火災助長のおそれ：酸化性物質 H313　皮膚に接触すると有害のおそれ H316　軽度の皮膚刺激 H320　眼刺激 H350　発がんのおそれ H371　呼吸器系の障害のおそれ H373　長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害のおそれ
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202) 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。(P210) 衣類及び他の可燃物から遠ざけること。(P220)

可燃物と混合を回避するために予防策を取ること。(P221)
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
保護手袋を着用すること。(P280)

応急措置
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)
眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)
火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)

保管
施錠して保管すること。(P405)

廃棄
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

他の危険有害性　情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要　情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物

化学名又は一般名　塩素酸塩粒剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
塩素酸ナトリウム	50%	$NaClO_3$	(1)-239	(1)-239	7775-09-9
重炭酸ナトリウム	30%	$NaHCO_3$	(1)-164	(1)-164	144-55-8
鉱物質等	20%				
(シリカ)	(5%程度)	SiO_2	(1)-548	(1)-548	14808-60-7

分類に寄与する不純物及び安定化添加物　情報なし

4. 応急措置

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪いときは、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合
多量の水と石鹸で洗う。
水泡、痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合
水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

	眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
応急措置をする者の保護	ばく露による二次災害の防止。
医師に対する特別な注意事項	情報なし

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	火災が周囲に広がるおそれがあるため、直接の棒状注水を避ける。
特有の危険有害性	加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災によって刺激性又は毒性のガス及びヒュームが発生するおそれがある。 火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。
特有の消火方法	消火作業は風上から行う。 火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。 周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行なう。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用する。 大量の場合は、漏出したものをすくいとり、又は履き集めて、紙袋またはドラム缶等に回収する。 回収後の少量の残留物は、土砂またはおがくず等に吸収させる。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをすること。

		作業衣を家に持ち帰ってはならない。
保管		
	安全な保管条件	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。 冷所、換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉して保管すること。
	安全な容器包装材料	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
塩素酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定
重炭酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定
シリカ	未設定	0.03mg/m^3 (吸入性結晶質シリカ)	TWA 0.025 mg/m^3, A2

設備対策		取扱いについては、出来るだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具		
	呼吸用保護具	防じんマスク
	手の保護具	保護手袋
	眼の保護具	保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
	皮膚及び身体の保護具	保護服、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態	固体
	形状	細粒
	色	類白色
臭い		データなし
pH		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
燃焼又は爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
比重(密度)		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		約300℃

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。

加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	ラット(雄) LD_{50} > 5,000 mg/kg
		ラット(雌) LD_{50} > 5,000 mg/kg
		マウス(雄) LD_{50} > 5,000 mg/kg
		マウス(雌) LD_{50} > 5,000 mg/kg
	経皮	ラット(雄) LD_{50} > 2,000 mg/kg
		ラット(雌) LD_{50} > 2,000 mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		皮膚刺激性試験(ウサギ) : 軽度の刺激性
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		眼刺激性試験(ウサギ)(非洗眼) : 中等度の刺激性
呼吸器感作性		データなし
皮膚感作性		皮膚感作性試験(モルモット) : 陰性
生殖細胞変異原性		Ames test、Rec Assay、染色体異常試験 いずれも陰性(原体)
発がん性		混合物は区分1Aのシリカを5%程度含有し、混合物としては区分1Aに該当する。
生殖毒性		データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		混合物は区分1のシリカを5%程度含有し、混合物としては区分2(呼吸器系)に該当する。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		混合物は区分1のシリカを5%程度含有し、混合物としては区分2(呼吸器系、腎臓)に該当する。
吸引性呼吸器有害性		データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	魚類 :ニジマス	EC_{50}(96h)	> 3,950 mg/L
	甲殻類:オオミジンコ	EC_{50}(48h)	> 1,500 mg/L
	藻類	EbC_{50}(72h)	> 1,000 mg/L

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄に当たっては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

IMO	UN No.	1495
	Proper Shipping	SODIUM CHLORATE
	Class	2
	Sub Risk	5.1
	Packing Group	Ⅱ
	Marine Pollutant	Not Applicable
MARPOL		Not Applicable

航空規制情報

ICAO／IATA	UN No.	1495
	Proper Shipping	SODIUM CHLORATE
	Class	2
	Sub Risk	5.1
	Packing Group	Ⅱ

国内規制

陸上規制情報
消防法　危険物　第1類　塩素酸塩類含有物　第3種酸化性固体　危険等級Ⅲ
毒物及び劇物取締法　劇物
海上規制情報
船舶安全法
国連番号　1495
品名　塩素酸ナトリウム
国連分類　2
副次危険　5.1
容器等級　Ⅱ
海洋汚染物質　非該当
航空規制情報
航空法
国連番号　1495
品名　塩素酸ナトリウム
国連分類　2
副次危険　5.1
等級　2
特別の安全対策　積み下ろし時の衝撃及び火気に注意する。
消防法に定められている運送方法に従う。
消防法危険物第2～5類物質（木炭、硫黄、金属粉等）と混載しない。
「危険物」の標識を掲げる。
輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
移送時にイエローカードの保持が必要。
緊急時応急措置指針番号　140

15. 適用法令

農薬取締法　登録番号　第7595号
労働安全衛生法　通知物質　シリカ
毒物及び劇物取締法　劇物　塩素酸塩類及びこれを含有する製剤
消防法　危険物　第1類　塩素酸塩類含有物　第3種酸化性固体
指定数量　1000Kg　危険等級Ⅲ
船舶安全法　酸化性物質類・酸化性物質
航空法　酸化性物質類・酸化性物質

16. その他の情報

引用文献　日本カーリット株式会社　デゾレートAZ粒剤　製品安全データシート 改訂日2013年10月1日版

記載内容の問合せ先
会社名　北興化学工業株式会社
担当部門　環境安全部
電話番号　03-3279-5151
FAX番号　03-3279-5195

急性中毒に関する緊急の問合せ先
公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒のおそれがある場合に限る）
中毒110 番
一般市民専用電話　（大 阪）072-727-2499（情報料無料）
365日 24時間対応
（つくば）029-852-9999（情報料無料）
365日 9～21時対応
医療機関専用有料電話　（大 阪）072-726-9923（1件2,000円）
365日　24時間対応
（つくば）029-851-9999（1件2,000円）
365日　9～21時対応
医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料 1件につき2,000円を徴収します。

注意事項

本データシートは作成年月日での製品情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載されている内容は、安全な取扱いを確保するための情報であり、いかなる保証をなすものではありません。特殊な条件下で使用するときは、その使用状況に応じた安全対策が必要となります。